

社長メッセージ

Message from the President

- 基本方針 -

もっと社会に役立つ

もっとお客様に喜んでいただける

もっと地球に優しい企業グループ

そして「ゆとりとやりがい」



代表取締役 社長執行役員

坂下 智保

お客様、社会の価値向上へ

当社は、上記を基本方針として、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出とともに、様々な企業活動を通して社会の発展に繋げることが、重要な使命であると考えています。

当社グループは、急速なICT(情報通信技術)の発展に伴う需要拡大へ対応するため、体制強化を進め、さらに、重点技術分野「AIS-CRM」(*1)を掲げ付加価値向上に努めています。このような活動の下、主力である受託開発分野の拡大・付加価値向上とともに、プロダクト・サービス分野の積極的な展開、グローバル分野への取り組みとグループ連携の強化を引き続き進めています。また、予めから行っております働き方改革を加速させ、生産性向上による残業時間削減等の取り組みも行っています。さらに、「全日本ロボット相撲大会」の運営を行うことで、社会の持続的発展を担う次世代人材の育成に取り組むとともに、地域活性化や被災地支援などの社会貢献活動を積極的に行ない、中期方針である「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指してまいります。

事業活動を通して社会の発展へ

当社は、様々な事業活動を通して社会の発展に貢献してまいります。まず、ビジネスの中核であるシステム構築分野においては、急速なICTの発展により、様々な分野でソフトウェア技術が重要視され、ICT利用の社会的ニーズが拡大しています。自動車関連やFA(工作機械)等、ソフトウェアでの制御がさらに重要となっている機械制御系、産業用ロボットSI関連、デジタルトランスフォーメーションやフィンテックを背景とするシステム刷新などのニーズが高まる金融分野、新たなビジネスが次々生まれ拡大を続けるネットビジネス分野や仮想基盤を利用したインフラ構築など、あらゆる分野において、ICTの活用がビジネス発展のキーとなっているといっても過言ではありません。さらに、最先端のAIやロボット技術の応用、技術の発展とともに拡大するセキュリティへの脅威等、対応すべき技術分野はますます広がっています。当社は、積極的な人材採用と新たなビジネス創出のための高度技術者(情報処理安全確保支援士、日本ディープラーニング協会ジェネラリスト検定等)の育成を積極的に行い、恒常的に不足している技術者ニーズへの対応を進めています。また、最先端の6つの技術分野であるAIS-CRM分野に積極的な投資を行い、新たな技術分野拡大にも果敢に対応しています。

プロダクト・サービス分野においては、モバイルコンテンツ管理市場の製品別売上金額シェアで2年連続No.1(*2)である当社プロダクト「moreNOTE(モアノート)」の積極展開を行っています。このサービスを利用することで、ペーパーレス会議が容易に実現できるため、昨今の働き方改革推進の重要なツールとして様々な分野でご活用いただいています。当社内でも6年前より自社利用を行い、在宅勤務環境を整備し、多様な働き方を実現しています。また、経済産業省や厚生労働省が指定する、介護ロボット機器の開発重点分野にコミュニケーション分野が追加されコミュニケーションロボットへの注目が高まる中、当社のAIとロボット技術を結集したコミュニケーションロボット「PALRO(パルロ)」は、高齢者福祉施設で1,000台以上導入されており、多くの高齢者や施設の運営者にご利用いただいています。さらに、先進技術への取り組みとして「AI・人工知能EXPO」にAIコンサルティング、AIインテグレーションサービスを出展する等、AIインテグレーターとして新たなビジネス創出に取り組んでいます。

社長メッセージ

Message from the President

こういった当社の最先端技術を集結した様々なプロダクト展開や、海外の最新のサービス導入支援を積極的にを行い、プロダクト・サービス分野での付加価値の提供に努めていきます。

今後も、ICTの発展を通して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

働き方改革への取り組み

政府が推進する働き方改革に伴う多様な働き方の実現に向けて、半日有給休暇を時間帯を固定せずフレキシブルに取得可能とした「フレキシブル有休制度」、業務中のリフレッシュを10分単位で認める「リフレッシュタイム制度」を導入いたしました。これらの制度導入により、これまでの「スーパーフレックス（1990年より導入しているコアタイムのないフレックスタイム）」を超える「ウルトラフレックス制度」となりました。また、社員一人ひとりの働き方の状況にも柔軟に対応できる在宅勤務制度を5年前から導入し、現在は最新のICTを活用して、社員が場所や時間にとらわれない働き方を実現しています。こうしたワークライフバランスや健康増進、残業削減や有休奨励の推進等を戦略的に実践する取り組みが評価され、経済産業省が発表する「健康経営優良法人」に2年連続で認定されました。

様々な社会貢献活動への取り組み

当社は、「ものづくり」の楽しさを知ってもらうことを目的に、国内最大規模のロボット競技大会「全日本ロボット相撲大会」を1990年より主催しています。この大会に参加された多くの方々が、多方面で活躍されており、「ものづくり」の裾野拡大に繋がっています。

近年、当社が考案したロボット相撲は、海外において「相撲ロボットの制作はロボットテクノロジーの習得に適している」と高く評価され、世界各国でロボット相撲大会が開催されています。2017年12月に開催した第29回大会では、1,034台の相撲ロボットの中から勝ち進んだ64台が相撲の聖地、両国国技館で競い合いました。また、海外からも25ヶ国96台の相撲ロボットと189名の選手・関係者が来日し、日本代表と世界一を争う「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2017」を開催いたしました。今後もロボット相撲を世界中に普及させると同時に、さらに多くの皆様に「ものづくり」の楽しさを知っていただき、ロボットテクノロジーを学ぶきっかけとして本大会が末永く続けられるよう、尽力してまいります。

また、当社グループの特例子会社である富士ソフト企画は、多くの精神障がい者を雇用する企業として、そのノウハウを活かした就労支援プログラムを構築し「就職予備校」を開始、数多くの就労希望者をサポートしています。こうした実績が評価され、2011年及び2012年に、独立行政法人「高齢・障害・求職者雇用支援機構」主催の「障害者雇用職場改善好事例」において最優秀賞を2年連続で受賞しています。今後も「就労移行支援事業」の事業者として、多くの方々の就労支援に取り組んでいきます。

この他、子会社である富士ソフト・ティッシュエンジニアリングによる先進的な再生医療の取り組みなど、様々な企業活動を通して、社会の発展に貢献してまいります。

当社グループでは、震災や豪雨災害等の被災地に対し、特定非営利活動法人「IT工房ひのき」を通じた人的支援や義援金寄付等の復旧・復興支援に取り組んでいます。また、被災地のみならず、少子高齢化が進む過疎化地域での雪かきや里山保全などのボランティア活動や、地域活性イベントへの参加など、幅広い活動を行っており、今後も継続して取り組んでまいります。

*1 : AIS-CRM (A : AI / I : IoT / S : Security / C : Cloud / R : Robot / M : Mobile & AutoMotive)

当社が重点技術と位置づける技術領域

*2 : ITR「ITR Market View : ユニファイド・エンドポイント管理市場 2018」

モバイルコンテンツ管理市場 : 製品別売上金額シェア 2017年度・2018年度予測